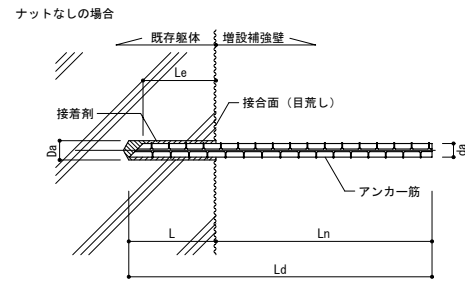
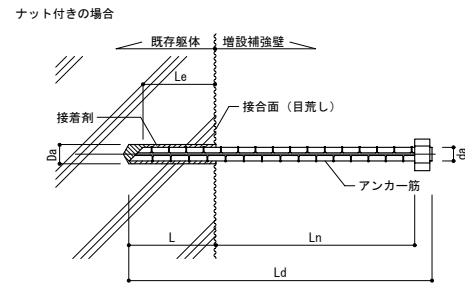


あと施工アンカー

(1) 接着系アンカー



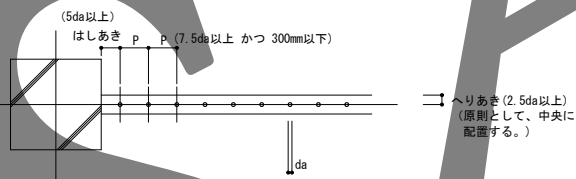
- L : コンクリートの穿孔深さ又は接着系アンカーの埋込み長さ
- Le : アンカーの有効埋込み長さ
- Ld : アンカー筋の全長
- Ln : 有効定着長さ
- Da : 既存コンクリート躯体への穿孔径
- da : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名

アンカー関係共通事項	
接着系アンカーの有効埋込み長さ	Le= 7da (せん断用) Le=10da (引張用)ただし、壁の縦筋の引張降伏耐力を期待する場合は12daとする。
接着系アンカーの有効定着長さ	Ln=20da (ナット付き) Ln=30da (ナットなし)
アンカー筋形状	ナット付き異形棒鋼は、ナットからねじ山が2山以上であること。 また、先端形状は45°カットとする。

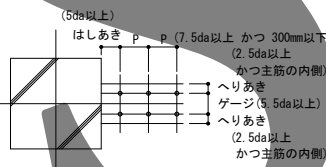
施工確認試験荷重	
アンカー筋呼び名 (da)	荷重 (kN)

(2) あと施工アンカーの位置と間隔

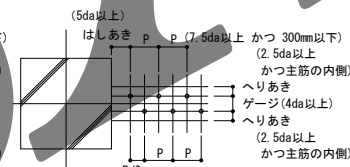
シングル配置の場合



ダブル配置の場合



千鳥配置の場合



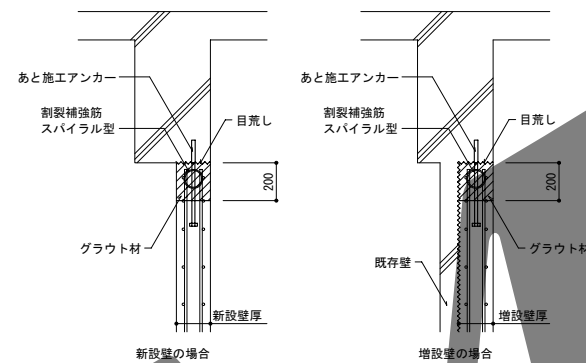
割裂補強筋配筋要領

- 割裂補強筋は、改修壁の柱・梁に接する面すべてに配置する。
- 割裂補強筋は、6φスパイラル型とし、ピッチ、スパイラル径は下記による。
- 継手は、2巻以上の重ねとする。

壁厚	スパイラル径	割裂補強筋	備考
150	75φ	6φ#50	
180	100φ	6φ#50	
200	100φ	6φ#50	
250	150φ	6φ#50	
300	150φ	6φ#50	

新設・増設壁上部グラウト要領

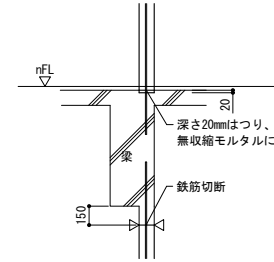
- 特記なき新設・増設壁上部は、グラウトを行う。



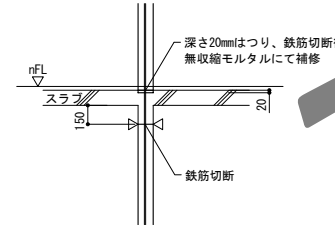
既存壁等撤去要領図

注記) 特記なき壁等の撤去は下図による。
注記) <I>印は、コンクリートカッター位置を示し、カッター深さ30とする。
注記) 鉄筋切断部には、禁止め塗装を行う。
注記) 鉄筋はつり出しは、特記による。

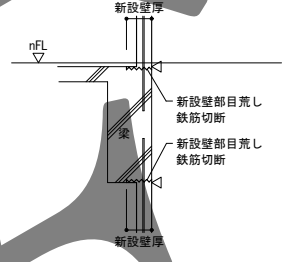
撤去壁-梁 取合部 (撤去のみの場合)



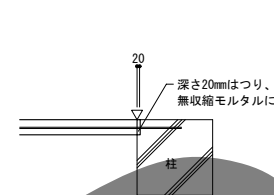
撤去壁-スラブ 取合部



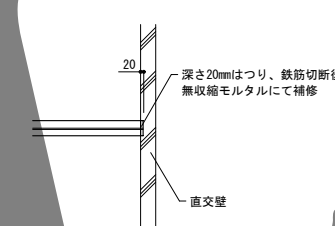
撤去壁-梁 取合部 (壁を新設する場合)



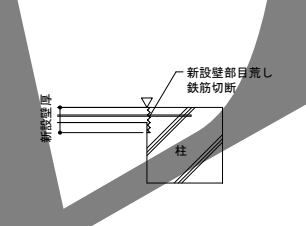
撤去壁-柱 取合部 (撤去のみの場合)



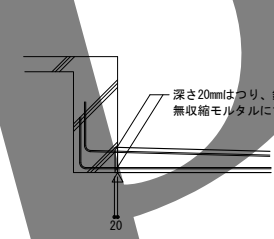
撤去壁-直交壁 取合部



撤去壁-柱 取合部 (壁を新設する場合)



撤去底-梁 取合部



工事設計図

耐震改修標準詳細図

縮尺